

科目名	フィールドワーク実習ⅣA・ⅥA	形態	実習	開講期	秋学期
担当教員	長江 朱夏	単位	1	年次	3

＝授業科目の目標＝

臨床現場でのセッションを想定したロールプレイ、臨床上の段階的な流れや活動の構成要素について、より具体的に学ぶことを目的とする。音楽療法総論Ⅰ、Ⅱ、音楽療法各論Ⅰ、音楽療法の技能Ⅰなどのクラスで習得した知識を、具体的な臨床実践へとつなぐ為の実践型の学びを行う。クラスメイトはチームとなって、セッション準備、実施、振り返りを行う。

※ 本フィールドワークは、現地一大学間の移動時間を要する。木曜3限を履修予定の学生は、事前に担当教員と相談すること。

＝履修の条件と学習の方法＝

1年～2年において、音楽療法関連科目を学び、音楽療法総論Ⅰ、Ⅱと、音楽療法各論Ⅰ～Ⅲ、音楽療法の技能Ⅰ～Ⅲが終了していること。体調管理に留意すること。必要に応じ、書籍や文献による学習も行う。

クラスは、グループ担当制とする。各自担当セッションには、活動のアイデアと大まかな構成素材をチームと共有し、準備・打ち合わせをして臨む。やむを得ずセッションを欠席する場合は、講師とリーダーへ事前に連絡すること。また、翌回のセッションまでに、チームからの情報収集を行うこと。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：授業の内容などの説明。対象者を想定したロールプレイ。
- 2回 施設オリエンテーション（現地）、グループと担当分け
- 3回 セッションの流れの想定と内訳 ※状況により臨機応変に対応
セッション①対象者のニーズを見極める、目標設定
- 4回 セッション②対象者のニーズを見極める、目標設定
- 5回 セッション③対象者のニーズを見極める、目標設定
- 6回 セッション④実施と振り返り
- 7回 大学での講義および個別フィードバック
- 8回 セッション⑤実施と振り返り
- 9回 セッション⑥実施と振り返り
- 10回 セッション⑦実施と振り返り
- 11回 大学での講義および個別フィードバック
- 12回 セッション⑧実施と振り返り
- 13回 セッション⑨終結に向けて
- 14回 セッション⑩終結に向けて
- 15回 まとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

1 出席点（出席5点、欠席0点、無断欠席－5点）で総合成績の40%とする。やむを得ず欠席する場合は、担当教員とグループメンバーへ必ず事前連絡すること。また欠席したセッションは後日チームとフォローアップをすること。

2 ログの提出（毎回）。内容を満点5点～1点の段階評価をし、その合計を成績の30%に反映する。

3 自身の評価：自身の立てた各回の目標の達成率、またセラピスト体験の成熟度を満点5～1点で評価し、総合成績の20%に反映する。

上記の合計で100%として成績評価とする。

=テキスト（必携）=

授業内にて、適宜紹介、配布する。